



掲載しきれないイベントの写真などは
下関市公式SNSで配信中！

Topics

／ まちの話題 ／

旧下関球場跡 長府野球場跡 野球聖地・名所150選に

今年には日本に野球が伝わって150年。その節目を記念し、日本野球機構などが野球界全体を盛り上げようと日本野球聖地・名所150選を決定。下関から2カ所が選ばれました。

【旧下関球場】

1949年に開場。大洋漁業(現・マルハニチロ)の本社が下関市にあったことから、この地で誕生した大洋ホエールズの専用球場として使用されました。1950年には、2リーグ分立で誕生したセ・リーグ開幕戦の舞台となり、日米親善野球も開催された球場であったことから選定されました。

【長府野球場】

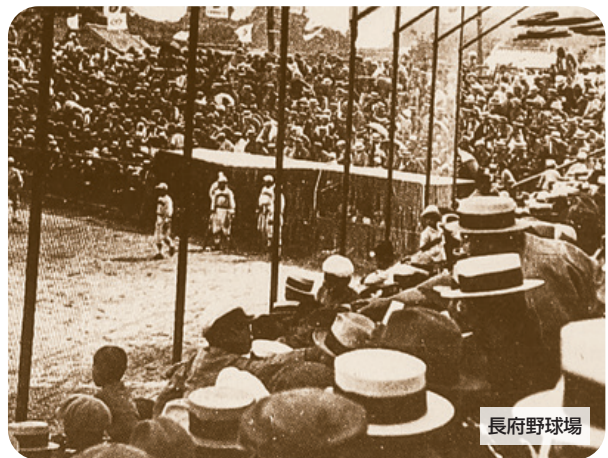
1929年に山陽電気軌道(現・サンデン交通)が開場。動物園やローラースケート場などがある長府楽園地も併設されてにぎわいましたが、戦時体制強化で1938年に閉鎖されました。1931年に長府野球場で全米対八幡製鉄所の試合が行われたこと等から選定されました。

【スタンプラリー開催中】

12月31日(土)までに、50カ所以上を巡ると記念グッズがもらえます。



旧下関球場



長府野球場

夏の花火大会・祭りが開催されました！



8月13日、3年ぶりに開催された関門海峡花火大会。両岸から打ち上げられる約1万5,000発の花火が、夏の夜空を彩りました。色とりどりの花火や水中花火、フィナーレには、上空で直径約450mに広がる一尺五寸玉が大輪の花を咲かせ、ひときわ大きな観客の拍手が起こりました。

今回は、例年より、花火の打ち上げ時間を20分短縮し、有料会場の入場者を約半数に制限したりするなど、コロナ感染症対策を講じての開催となりました。

状況が刻々と変わる中、市内各地域が、夏祭りの開催の可否を慎重に判断しています。

コロナ禍で中止を余儀なくされていた一部の地域イベントが、感染症対策を講じた上で開催され、音楽や踊り、地域行事などで、にぎわいのある夏となりました。